

課題番号3

## 宮崎県で発生した 新型コロナウイルスの 分子疫学調査

微生物部

- 三好めぐみ、成田翼、水流奈己  
宮原加奈、吉野修司、杉本貴之  
黒田誠  
(国立感染症研究所病原体ゲノムセンター)

1

## 新型コロナウイルス感染症

2021年6月30日までに

世界:1億8175万人以上(死者数 394万人以上)

日本:79万9801人(死者数 1万4784人)

宮崎:3083人(死者数 27人)

- 病原体:SARS-CoV-2
- 検査方法:リアルタイムone-step RT-PCR法
- 変異株スクリーニング:N501Y、L452R

2

## 目的

- (1)宮崎県のハプロタイプ・ネットワーク図を作成
- (2)ネットワーク図と疫学情報を照合
  - ・疫学情報だけでは判明しなかった知見を得る

3

## 経過報告

2021年3月

当所研究発表会で第1報を発表

2021年7月

宮崎県地域健康推進研究会で第2報を発表

4

## 対象

期間: 2020年3月～2021年2月

当所及び宮崎市保健所でSARS-CoV-2陽性と判明

(1)国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センターで解析できたCt値32未満の196検体。

(2)未解析の事例のうち、疫学情報より(1)の検体と同クラスター及び同グループに属すると推定される240事例。

計436事例

※第3波はクラスター事例に限定

5

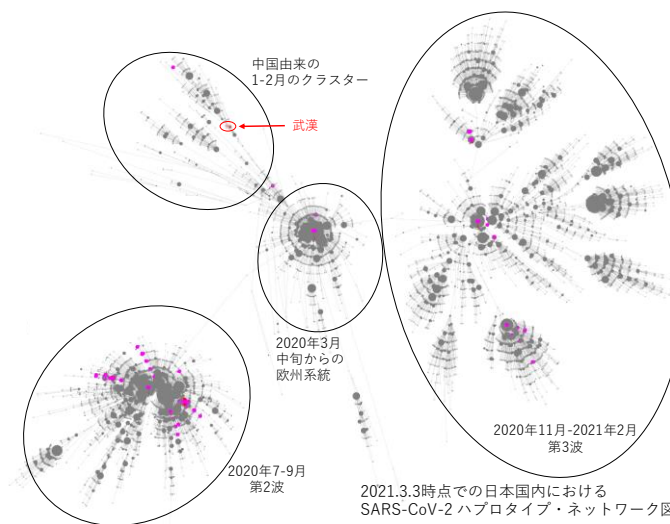
## 方法

- (1)リアルタイムone-step RT-PCR法を用いて検査
- (2)抽出RNAを病原体ゲノム解析研究センターに送付し、次世代シーケンサーで解析
- (3)宮崎県のネットワーク図の作成
- (4)ネットワーク図と疫学情報の照合

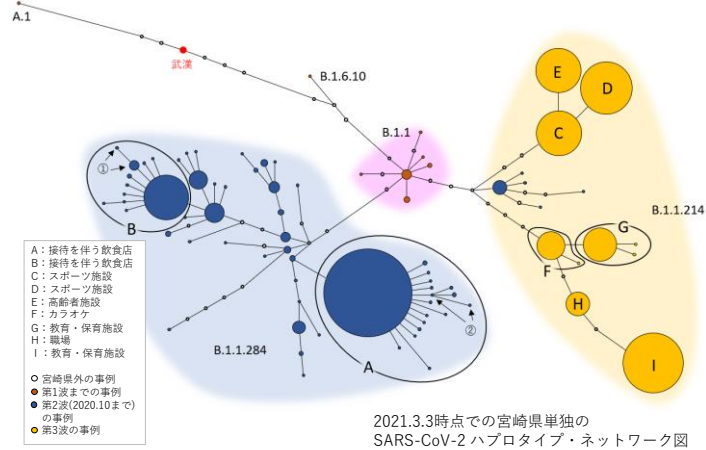
6

## 結果・考察

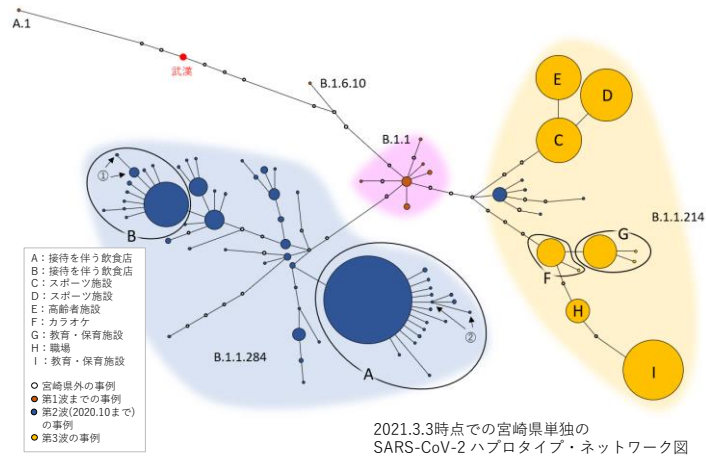
7



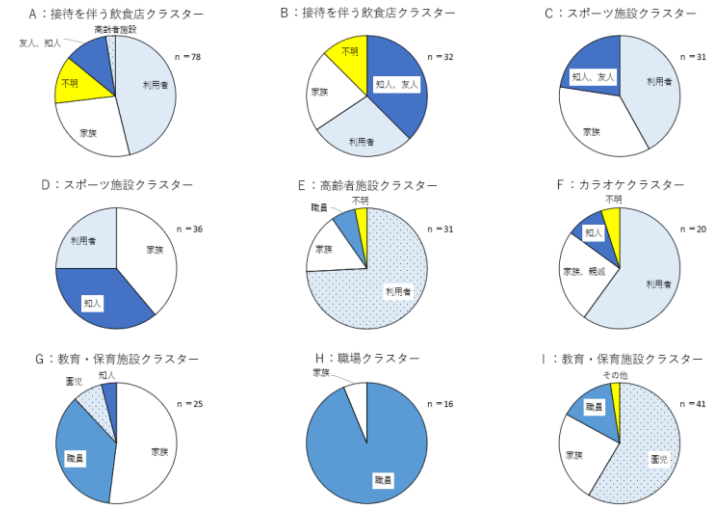
8



9



11



10

## 今後の課題

- (1) 当所が収集した疫学情報の不足
  - ・関連の不明な部分があった。
- (2) 第3波の未解析事例の多さ
  - ・散発事例が未解析
  - ・ネットワーク図が不正確

12

## 今後の展望

(1) 第4波以降のデータを追加

(2) 感染拡大防止に繋げる

(3) 次世代シーケンサーの活用  
・新たな変異を探知